

# 愛しきソナ

映画と講演

「映画をとおして人権を考える」

第3回人権問題講演会

映 画：「愛しきソナ」 2009年ドキュメンタリー作品/82分

講 演：「きっと、また会える」

監督 ヤン・ヨンヒ さん

10月4日(土)13:30~16:30

コムズ 5階 大会議室

Do

主催：NPO 法人「Do」

(松山市委託事業)

後援：松山市教育委員会・松山市公民館連絡協議会・松山市人権教育推進協議会

愛媛新聞・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・FM愛媛・あいテレビ

愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・リビングまつやま

## 映画と講演

### 「映画をとおして人権を考える」

第3回人権問題講演会(入場無料:定員100名:申し込みは不要です)

日時 10月4日(土)13:30~16:30

場所 コムズ 5階 大会議室

映画:「愛しきソナ」2009年ドキュメンタリー作品

#### ○北朝鮮に渡った兄たちと姪ソナの成長を記録した感動作!

大阪で生まれ育った在日二世の映像作家ヤン・ヨンヒが、朝鮮総連の元幹部で最も理解しがたい最愛の父への複雑な想いを、自身の家族の10年間の中に描いた『ディア・ピョンヤン』は、ベルリン国際映画祭最優秀アジア映画賞をはじめ、サンダンス映画祭審査員特別賞、山形ドキュメンタリー映画祭特別賞など数多くの賞を受賞し、世界中を笑顔と涙で包みこんだ。今回の『愛しきソナ』は帰国事業によって70年代に北朝鮮に移り住んだヤン監督の3人の兄とその子どもたち、特に姪のソナにフォーカスを合わせ、近くて遠い二つの国をつなぐ強い絆と深い愛をめぐる、心に染み入るような繊細な優しさが伝わる感動作だ。

#### ○愛する人たちが暮らすその地を想う時、私の心はいつも引き裂かれる。

ヤン監督は17歳の修学旅行で訪朝して以来、幾度となくピョンヤンを訪れている。生まれた頃から交流を続けてきたソナの屈託のない笑顔と成長を温かいまなざしで見つめながら、70年代に“地上の楽園”とされた祖国に父によって送り出された兄たちがたどった運命とその胸に秘めた想い、そして自分の息子を送り出しながらその後の思いもよらない状況に悔恨の念をにじませる父の心情と、その病床の姿を厳しい視線で映し出す。選択の機会が与えられない社会で生まれ育ったソナと、生まれた時から自由を謳歌しながら育ってきた自分を重ね合わせ、ふたつの国に暮らす自分の家族の生きざまを描きながら、そこには思想や価値観の違いを超えた、誰もが心の内に持っている家族への切ない想いが浮かび上がってくる。



#### 講演:「きっと、また会える」

監督:梁 英姫(ヤン ヨンヒ) Yang Yonghi

大阪市生まれ。在日コリアン2世。東京の朝鮮大学校を卒業後、教師、劇団女優を経てラジオパーソナリティに。1995年からドキュメンタリーを主体とした映像作家として数々の作品を発表する。また、テレビ朝日・ニュースステーション他で、ニュース取材・出演するなどテレビの報道番組でも活躍。1997年渡米。約6年間ニューヨークに滞在し、様々なエスニックコミュニティーを映像取材する。ニュースクール大学大学院修士号取得。2003年に帰国後、日本での活動を再開する。2005年に長編ドキュメンタリー『ディア・ピョンヤン』を発表し、ベルリンを始め多くの国際映画祭で受賞する。2012年には初めての劇映画『かぞくのくに』を発表している。